# オプション検査のご案内

分類		No.	検 査 項 目	検査料金 (税込)	検 査 項 目 に つ い て		
	胃	4	ABC検診	¥3,850	血液中のペプシノゲンと胃潰瘍・十二指腸潰瘍の原因といわれているピロリ菌抗体価を測定し、胃の健康度を調べます。ただし、次に該当される方は検査対象となりません。1.胃潰瘍・十二指腸潰瘍などで治療中2.胃切除後3.腎不全(クレアチニン値3mg/dL以上)4.ピロリ菌除菌後		
	血液型	5	血液型検査	¥1,650	ABO式とRh式の血液型を調べます。		
	腫瘍マーカー 裏面※も ご確認ください。	7	CEA	¥1,320	多種の臓器(特に、消化管・膵臓・胆道・肝臓・肺など)の疾患で上昇します。		
		8	AFP	¥1,320	主に、肝細胞疾患(特に、肝細胞がん・肝硬変など)で 上昇します。妊娠中でも高値となります。		
		9	CA19-9	¥1,650	主に、膵臓・胆道・消化管の疾患で上昇します。		
		10	3項目セット	¥3,850	CEA・AFP・CA19-9の3項目セットになります。		
		11	PSA	¥1,980	前立腺の疾患で上昇します。 50歳以上男性は、年に1回の検査をお勧めします。		
血液	肝炎	18	HCV抗体	¥1,540	C型肝炎ウイルスに感染しているか、あるいは、 過去に感染したことがあるかを調べます。		
液検査		27	HBs抗体	¥440	B型肝炎ウイルスの感染防御抗体の有無を調べます。		
	心不全	26	NT-proBNP	¥2,750	心臓の働きが弱まり負担がかかると、心臓の細胞から NT-proBNPが血液中に分泌されます。心臓への負担の程度が 大きいほど値が高くなりますので、心臓へかかっている負荷 状態をみるのに適しています。 動脈硬化の原因となる血液中のたんぱく質を測定し、 脳梗塞・心筋梗塞の将来の発病リスクを予測します。 人気オプション検査が受診しやすくなりました! 血液中のFT4,TSHを測定し、甲状腺の機能を調べます。  少量の血液で48種類のアレルギーの原因(アレルゲン)を 調べる検査です。  亜鉛、鉄、フェリチンを測定します。生活に必要な血液中の ミネラルの過不足がないかをチェックする検査です。		
	動脈硬化	63	LOX-index (ロックスインテ <sup>*</sup> ックス)	¥ <del>13,200</del> ↓値引き後 ¥12,650			
	甲状腺	66	甲状腺セット	¥3,300			
	アレルギー (アレルゲン)	72	MAST48mix (マスト)	¥14,300			
	微量元素	74	体内微量元素検査	¥3,300			
	認知症	75	MCIプラス スクリーニング	¥ <del>27,500</del> ↓値引き後 ¥23,100	軽度認知症のリスクを判定する検査です。 結果は2~3週間かかるため別送になる可能性があります。 詳しくは別紙をご覧ください。 人気オプション検査が受診しやすくなりました!		
血液検査	骨密度	12	骨密度検査	¥1,716	足の踵に超音波を透過させて骨密度を測定します。 骨粗しょう症のスクリーニング検査です。 「*満30歳以上の方で松本市に住民票のある方は		
以 外				[¥840]	補助制度が利用可能です。		

【裏面につづく】

## オプション検査のご案内

### ◆事前予約オプション検査(本館のみ)◆

受け入れ人数に制限がある等の理由により対応出来ない場合がございますので、 事前の予約が必要です。(受診日当日のお申込みは対応出来ません。)

分類		No.	検 査 項 目	検査料金 (税込)	所要時間	検査項目について
事前予約オプション	動脈硬化 検査	70	CAVI (キャビィ) 検査	¥2,970	5~10分	上両腕・両足首の血圧を測り動脈硬化の程度 (血管年齢)を調べます。 ※検査を希望される方は下記注意事項を ご覧ください。
	СТ	2	頭部CT検査	¥8,800	10分	脳梗塞・脳腫瘍など頭部の疾患を 調べる検査です。
		3	胸部CT検査	¥8,800	10分	肺がん・肺気腫(COPD)など胸部の 疾患を調べる検査です。
		392	内臓脂肪測定検査 (CT検査)	¥2,200	10分	見た目ではわからない内臓についた 脂肪を測定します。 *頭部CT・胸部CTのいずれかを ご希望の場合は無料で測定できます。

### ※動脈硬化検査(CAVI検査) については

以下に該当される方は、検査を受けられません。

- 1.動静脈瘤のある方
- 2.深部静脈血栓のある方
- 3.透析シャントのある方
- 4.乳がん術後の方
- 5.血圧計のカフの装着部に炎症、化膿性疾患、外傷がある場合

#### ※腫瘍マーカーについて

腫瘍マーカーは、がん診断に補助的に使用するものです。がんがなくても数値が基準値を外れる場合や、がんが有っても数値が上昇しない場合があり、血液検査だけで全てがわかるわけではありません。 画像診断検査等と併せて検査されることをお勧めします。

数値が異常の場合、精密検査を受け診断していくことになります。